

第1回全日本バドミントン選手権大会の開催期日と会場について

平成29年10月1日

龍井 昇治

日本バドミントン協会は昭和21年11月2日に設立されました。

では、第1回全日本バドミントン選手権大会はいつ、どこで開かれたのでしょうか？

答は、昭和23年5月8日～9日 第二師範女子部体育館でした。

以下、結論を得るまでの資料と経過を示しました。

資料1 日本体育協会 昭和33年8月1日発行「スポーツ八十年史」

資料2 日本バドミントン協会発行「40年小史」編集長 伊藤鑛一氏

資料3 朝日新聞縮刷版 昭和23年5月号

資料4 東京学芸大学創立20周年記念誌

資料5 文京ふるさと歴史館発行「ぶんきょうの町名由来」の付録・文京区新旧町名対照地図

資料1のP463～468に「バドミントンの歴史」という記事があり、P465から、全日本選手権大会の第1回から第6回の記録が載っています。それによると、

第1回は

昭和23年5月8日～9日、東京青山女子師範体育館、参加人数（約80）審判長（広田兼敏）

資料2の1948年（昭和23年）のページには、開催期日の記載は無く、会場は東京（本郷・女子師範）となっています。

ここで、青山と本郷の表記の違いに戸惑いました。

そこで、地元の図書館で資料3の5月8日から10日のスポーツ欄の記事を調べたところ、バドミントン大会に関して、会場は次の3通りの表記がありました。

8日付新聞の「今日の運動」に「10時本郷第二師範」

9日付新聞の「今日の運動」に「9時二師女子部」

10日付新聞の「九日の記録」に「第二師範」（大会5種目の決勝の記録付）

ここで、すべての会場名は東京第二師範学校女子部の略称です。

資料4によると、東京第二師範学校女子部は昭和19年4月に、本郷区追分国民学校と本郷国民学校の校舎を譲り受けて開校しました。

地番は、本郷区駒込東片町二番地です。

ここで、資料2における本郷・女子師範は理解できました。

資料4で、文京区の新旧町名を調べましたところ、右地図の「本郷通り」と「白山通り」に挟まれた部



分の左半分が旧「駒込東片町」でした。

なお、右半分の一部が「駒込追分町」でした。

「第二師範女子部」の校地の跡地は現在の文京区立第六中学校となっています。

現在の町名番地は、文京区向ヶ丘1-2-2です。

なお、東京第二師範学校女子部は昭和24年に設立された東京学芸大学の追分分校と呼ばれていて、昭和27年度末に廃校になっています。

[参考1] 第1回全日本バドミントン選手権大会結果

種目	優勝	準優勝	3位	4位
MS	岡 淳一 (神奈川県)	藤井 光男 (東京)	広田 敏秀 (東京)	秋元 幾三 (神奈川県)
MD	広田 敏秀 (東京) 藤井 光男	相馬 万吉 (神奈川県) 秋元 幾三	宮沢 宏之 (東京) 今村 正雄	森 勇 (神奈川県) 岡 淳一
WS	中村 タキ (神奈川県)	川俣千枝子 (神奈川県)	小仲美代子 (神奈川県)	岡 広子 (神奈川県)
WD	川俣千枝子 (神奈川県) 中村 タキ	小仲美代子 (神奈川県) 岡 広子	荒井 貞子 (東京) 新関 章子	川 口 (愛知) 金 森
XD	森 勇 (神奈川県) 岡 広子	山田 康久 (東京) 新関 章子	斉 藤 (東京) 中 西	鈴木 (神奈川県) 吉 田

[参考2] 大会使用球（シャトル）は、「群馬県バドミントン協会30周年記念誌」によると、英国製のウィルソン・ブルーバードでした。

以上